

令和4年度 第1回学校評価アンケートの結果と考察

日頃は、本園の教育にご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。27名の保護者の皆様から回答をいただきました。その結果集計と考察をご報告させていただきます。

(A よくあてはまる B あてはまる C どちらともいえない D あてはまらない)

(A) (B) (C) (D)

① 子どもの様子	1	自分から積極的に遊びを見つけて、夢中になって遊んでいる。	23人	3人	1人	0人
	2	感じたり思ったりしたことを言葉や身体やICTを使って伝えようとしている。	18人	8人	1人	0人
	3	身近な生き物や植物などに興味を持ち大切に思う気持ちを持っている。	23人	2人	2人	0人
	4	友達との関わりを大切に感じている。	20人	3人	4人	0人
	5	友達やみんなで一緒に遊ぶことを楽しんでいる。	23人	1人	3人	0人
	6	困難な事にも自分なりに最後まであきらめずに取り組もうとしている。	17人	8人	2人	0人
② 幼稚園の取組	7	上賀茂幼稚園の保育の方向性は適切である。	24人	3人	0人	0人
	8	様々な子どもの活動に最善の適した環境を工夫して保育をしている。	23人	4人	0人	0人
	9	保護者・地域・学校・関係機関との連携を大切にして教育活動を進めている。	23人	4人	0人	0人
	10	子どもの日頃の様子や園の様子を保護者に伝えている。	25人	2人	0人	0人
	11	子どもの思いや保護者の思いに、寄り添う保育をしている。	25人	2人	0人	0人
	12	子どもの思いを引き出せるよう支え、一人一人を大切にしている。	25人	2人	0人	0人
	13	新型コロナ対策や子どもの命を守る為の安全対策を積極的に行っている。	25人	2人	0人	0人
③ 家庭では	14	子どもとの会話やコミュニケーションを大切にしている。	22人	5人	0人	0人
	15	子どもの思いをしっかり受け止め、その思いに寄り添おうとしている。	18人	7人	2人	0人
	16	読み聞かせをしたり、一緒に絵本を読んだりしている。	18人	6人	3人	0人
	17	十分な睡眠や規則正しい生活リズム等子どもの健康管理に気を配っている。	19人	8人	0人	0人
	18	自分で出来そうなことは、少しずつでも自分でできるように促している。	19人	7人	1人	0人

令和4年度も前期が過ぎました。この間上賀茂幼稚園教育が滞ることなく、安定した園運営ができましたこと、一重に保護者の皆様や地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。幸い、新型コロナや流行病での休園もなく、全ての園行事もほぼ新型コロナ流行以前の形で開催することができました。その結果園児たちも通年と同じように数多くの経験を積むことができました。また、全国でもあまり実践例のない、保育活動に遊び道具の1つとして、様々なICT機器を導入する研究もこの2年間積極的に取り組み、先日その成果を発表させていただきました。

本園が目指す生き物や自然との触れ合いも大切にしながら、一方で最先端のICT機器を導入した保育を実践しています。このような状況の中で、まず①各ご家庭で感じられておられるお子達の様子は項目1・3・5についてはほぼすべてのご家庭で、当てはまる以上のお答えをいただいております。4・5については、どちらとも言えないという回答もいただいております。この点については、園生活で友達との関わりを大切にする取り組みの場면을意図的に設定するなど、取り組みの強化に努めていきたいと思っております。②幼稚園の取組に関しては全ての項目で、当てはまる以上の評価をいただいておりますが、まだまだ十分に園児たち一人一人の個性や伸ばすべき力を見極められているわけではありません。また、集団の中での人間関係の基礎となる社会性を伸ばす取り組みを今後も継続して行っていく必要があると考えます。又園の情報がしっかりお伝えできていない点もあると思っておりますので、その辺りに関しても、今後一層の改善が必要であると考えます。③家庭の状況については、15・16の質問でどちらとも言えないが見られます。家庭生活の中で15・16の項目が完璧にできるわけではありません。大切な事はその為に努力をされることに大きな意味があると考えます。子育てにおいては、絶対的な正解と言われるものは無く、また子ども一人一人によってその対応は変わると思っています。只、唯一共通して言えることは、その子の自尊心をどこまで高められて、どこまで自分に自信を持たせられるか。どのようにすれば自己有用感を持たせられるかが大きなポイントであると考えます。その為には、叱る場面と同じかそれ以上に誉める場面を作り出し、意図的に誉める事です。子どもは褒められることで、自分に自信が持てるようになります。何事に対してもやる気がわいてきます。例えば誉める場面が見つかりにくいのであれば、いろいろと用事を頼んでみては如何でしょうか？そして頼んだことをしてくれた時、「すごいね!」とか「やっぱり頼んでよかった!」等誉める言葉を沢山伝えてみては如何でしょうか。毎日毎日誉め続ける事で、子ども達はどんどん自信を持つようになります。是非ご家庭でも実践していただくと、じわじわと自尊心が育っていく様子がわかると思っております。これからも家庭と園が連携して一緒に子育てをしていきたいと思います。以上前期の学校評価とその考察をお伝えいたします。